開催日時 令和6年3月1日(火)14時00分から 参 加 者 委員:9名 高齢者福祉課:1名 長寿保険課:3名 地域包括支援センター:2名 事務局:4名 所 山香ふれあいセンター 会議室 場

- 1 開会
- 2 あいさつ 浜松市天竜福祉事業所長寿保険課
- 3 情報提供
 - ○杏林堂オンラインショップ 水窪出張所について DPSIM サポートより、稼働から半月ほど経過する中での利用状況や当該

事業について感じていること等についての報告があった。

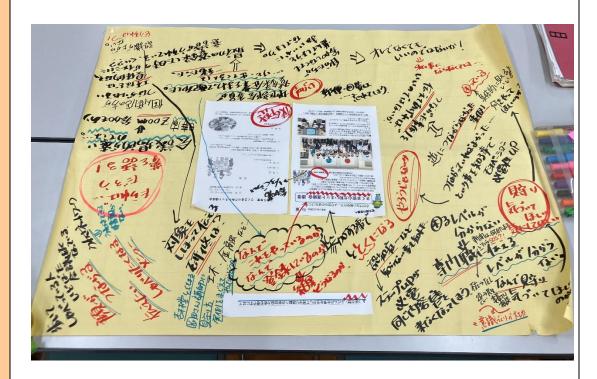
- ・稼働後から現在まで、(オンラインショップが設置されている DPSIM サポートの) 店舗が開いている日があまりなかったこともあり、すごく繁盛しているというわけ ではない。
- ・店舗内に設置されたスクリーンで商品をタッチして選んで注文すると、後日宅急便 で本人宅へ届く仕組み。料金は宅配業者に支払い、送料は何品頼んでも500円。
- ・杏林堂は、元々地元企業に配慮してとくし丸は地域に入らないようにしていたが、 今回、水窪町内に薬局が無くなってしまったという事情から、このような形で設備 を用意してくれた。

[質問・使ってみた感想など]

- ・今後、携帯等から注文とかもできるようになったりするのか? →現状ではそのような見通しは立っていないが、本当はそうなると良いと思う。
- 4 情報交換・意見交換
 - ○各地区の状況と今後考えられることについて
 - ① 各地区の活動状況について ⇒各地区の委員より、配布資料を基に活動状況について説明がされた。
 - ② 各地区の課題について 3つのグループに分かれ、ワールドカフェ方式にて各地区部会で出ている課題につ いて意見の出し合いを行った。

A. ふだんの仕事を生かして見守り活動への参加協力者を増やすには?(佐久間)

- ・登録している事業所や商店で出てくる人は一緒。登録した当時の意識が薄れている そもそもなぜ登録しているのか忘れてしまっているのではないか。
- ・登録事業所の実際の見守りの様子などについて学んだらどうか。杏林堂とくし丸などの 活動の報告会などを行う。→ モチベーションの向上に繋がる。
- ・対象を絞って研修などを行う。
- ・土木関係などの人は具体的な事例が見えてこないと意識しづらいのではないか。
- ・地区部会委員が通知を手渡しする。



B. 在宅支援活動がより地域に広がっていくための方法とは?(水窪)

- お伺いシートは待っているだけでは活かせない。
- ・男性はプライドがあり自分から声を出さない。
- ・申請に時間がかかる。近所の人の方が良い。
- ・知らないのか、知っていても使わないのか見極めが必要。知らなくて使わないならもったいない。
- ・無料をもっとアピールした方が良い。
- ・困っている人ほど持ってこれない。民生委員などを通じてもっと繋げていくことが必要。
- ・ 今は何とか出来ていても 10年後は問題。 今からあると知ってもらう事は必要。
- ・回覧や口コミで周知していくが必要。



C. 住民アンケート等を生かしていくために必要なことは? (龍山)

今回は特に「たつやマルシェに未だ来たことが無い人を呼び込むには?」という点にテーマを絞って話し合いを行った。

- ・そこでしか食べられない(買えない)ものがある。
- ・口コミが大事! (近所で声掛けをする)
- ・道路沿いにもっとわかりやすくのぼり旗(や看板)を立てたり、テントが出てればそれ を見て寄ってくる人が居るのではないか?
- ・楽しそうな雰囲気づくりを!
- ・「目玉」となる何かを行う(ex.マグロの解体ショー、ジンギスカン(焼肉)、和菓子など)
- ・秋口に温かい下着など(衣服は売る時期が大事)
- ・男性を誘うには楽しみになるものがあるといい(お酒とか)
- 飲食できるスペース
- ・桜の時期に合わせて実施し、ウォーキングしている人も取り込んでは?
- ・(元龍山地区住民を呼び込むために)インスタ等 SNS を活用して、地元の情報と一緒に 発信してはどうか?
- ・準備中や当日の様子などを広報に活用してはどうか?
- ・(地区内に床屋・美容院が無くなってしまったので)出張床屋に来てもらうのはどうか?

(質えない) (別はを誘うにみた) (別はを誘うにみた) (別はを誘うには) (別はを誘うには) (別はを誘うには) (別はを誘うには) (別はを誘うには) (別はを誘うには) (別はを誘うには) (別でできない) (記できない) (記でできない) (別でできない) (別

- ○地域の居場所・集いの場について また次回以降に情報共有を行っていく。
- 5 その他特になし
- 6 閉会